

修了生の活躍事例

実践的な技術を学べる福山能開短大に進学！

高校では普通科に通っていましたが、小さいころから「ものづくり」に興味があり、実践的な技術を学びたいと考えていました。大学進学を考えた際、高校の進路指導の先生からの紹介で、福山能開短大の電子情報技術科に進学しました。少人数制で実験や実習が多く、私が考えていた実践的な技術を学べるということが、入校の決め手になりました。

電子情報技術科では特に電子技術に力を入れて勉強し、電子回路図製作やパターン設計を学びました。プログラミングの授業では、最初はコードの意味などが分からず苦戦していましたが、解るようになるまで担当指導員の方が説明をして下さいました。

福山能開短大に入校して様々なことを学び、自分の得意分野や取り組んでみたいことを見つけられたので、今の仕事に出会うことができました。

株式会社石井表記 装置事業本部

後藤 剛志 さん (23)

福山職業能力開発短期大学校
専門課程
電子情報技術科

令和元年度 修了



総合制作実習ではROSを使用したロボットの画像認証に取り組んだ！

画像処理・解析、機械学習などの技術により、人の顔を認識する機能を実装し、Webアプリを作成してロボットを遠隔操作する機能や音声認識によるモータ制御の機能まで実装しました。幅広い知識と技術が必要なテーマでしたが、仲間と共に作り上げていく大変さや楽しさを学び、実習の成果が結果となって表れた時は、非常にうれしく、大きな自信となりました。



新しい技術に挑戦し、技術力を向上させたい！

今後、様々な仕様の装置を担当し経験や技術力を身に付けていき、新しい技術を用いた装置の開発や製作に携わっていくことが目標です。

福山能開短大で学んだことも活かしながら、今後さらに経験を積み、技術力を向上させていこうと考えています。

就職先企業での活躍

後藤 剛志さんの業務

装置事業本部電気設計課に所属しており、ユーザーが要望する仕様を満たすよう、電気回路図の作成や装置を動かすためのプログラム作成、試運転を行っています。

～装置の調整を行う後藤さん▶



上司からの声 電気設計課 和田 敦志 様

インターンシップを機会に「やりたいこと」を見つけて、この仕事を選んでくれました。福山能開短大にて身に付けた知識と能力で難しいことにも果敢に挑戦しており、現在では重要な存在となっています。

これからもっと難易度の高い内容を経験する中で、様々な事が起こると思います。自己のスキルアップに繋げ、事業部の中心人物となり、更なる活躍を期待しています。

株式会社石井表記 (広島県福山市)

現在福山能開短大の修了生16名が活躍

石井表記は、1963年ネームプレート製造で創業し、そこから製造技術をプリント基板製造や機械装置の操作表示パネル分野で製品を提供しております。また、そこで培った技術を電子部品製造装置製造へ展開し、さらには液晶パネル製造装置の設計・製造・販売へ部品製造装置メーカーとして世界へ展開しています。

(製品例)

- ・デバイス製品(ネームプレート、プリント基板、操作スイッチ、表示器等)
- ・プリント基板製造装置(研磨機、洗浄機、乾燥機他) ・配向膜塗布装置(液晶パネル製造装置)

